★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約４年８カ月間（2014年４月30日～2018年12月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ　ファンド－ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド」（以下「ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

世界ハイブリッド証券ファンド 2014−04 （為替ヘッジあり／限定追加型）

運用報告書（全体版）

第８期

（決算日　2018年６月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界ハイブリッド証券ファンド2014−04（為替ヘッジあり／限定追加型）」は、このたび、第８期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL　０１２０−１０６２１２

（営業日の９：00～17：00）

http://www.daiwa-am.co.jp/

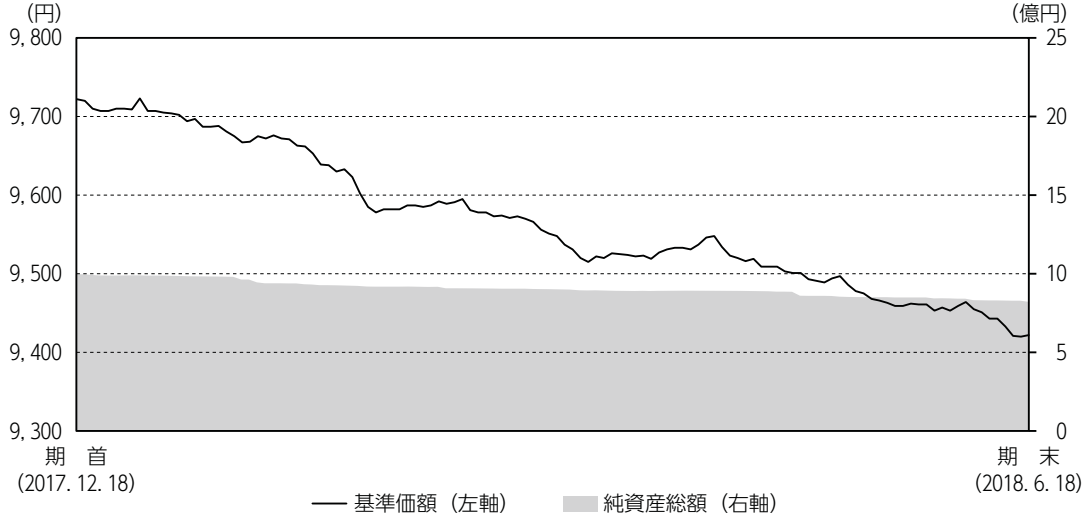
最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託証券受益組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
4 期末（2016年 6 月20日）	9,733	120	0.2	0.0	99.5	2,619
5 期末（2016年12月19日）	9,586	80	△ 0.7	0.0	99.5	1,382
6 期末（2017年 6 月19日）	9,748	60	2.3	0.0	99.4	1,195
7 期末（2017年12月18日）	9,722	40	0.1	—	99.0	996
8 期末（2018年 6 月18日）	9,402	20	△ 3.1	—	99.1	820

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注 3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期　首：9,722円
期　末：9,402円（分配金20円）
騰落率：△3.1%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「トライアングルⅡ　ファンドーワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド（以下「ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド」といいます。）」の受益証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、利息収入がプラス要因となったものの、債券価格の下落および為替ヘッジに係るコストなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型）

年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率		
	円	%	%	%
（期 首）2017年12月18日	9,722	—	—	99.0
12月末	9,707	△ 0.2	—	99.7
2018年1月末	9,663	△ 0.6	—	99.5
2月末	9,589	△ 1.4	0.0	99.6
3月末	9,526	△ 2.0	—	99.5
4月末	9,509	△ 2.2	—	99.6
5月末	9,453	△ 2.8	—	99.8
（期 末）2018年6月18日	9,422	△ 3.1	—	99.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2017. 12. 19 ～ 2018. 6. 18）

■ハイブリッド証券市況

ハイブリッド証券市場は下落しました。期首より、良好な米国経済指標や原油価格の上昇などを背景に世界的な株高が継続する中、ハイブリッド証券市場は底堅い展開でスタートしました。2018年２月中旬にかけては、米国の景況感の強まりなどから欧米の長期金利の上昇が加速した流れを受けて下落しました。２月半ば以降は、市場のボラティリティが落ち着きを見せ、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ株式市場が上昇基調に転じる中、５月中旬まで横ばい推移が続きました。その後、イタリアの政情不安を受けたリスク回避姿勢の強まりから、５月末にかけて下落が加速しました。期末にかけては、世界的に株価が戻り歩調となる中、やや値を戻す動きとなりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として、ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドへの投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

■ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド

米国トランプ大統領周辺とロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑が再燃するなど、依然として米国の政権運営の先行き不透明感が払しょくされる状況にない中、ドイツをはじめとした欧州の政治不安、また北朝鮮や中東情勢などの地政学リスクが市場の重しとなることが予想されます。しかし、大枠としてグローバルな低金利・低成長という市場環境が相応の期間継続するとの見方に変わりはありません。

今後の運用については、個別証券の諸条件および市場の動向にはより注視してまいりますが、基本的には現状の組入銘柄を中心に、相対価値比較から一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、ファンドの信託期間における利回りの向上を図る方針です。

また、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて （2017.12.19～2018.6.18）

■当ファンド

当ファンドは、ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド

当ファンドは、世界を代表する金融機関が発行するハイブリッド証券を対象に、デフォルト（債務不履行）リスクおよびコール（繰上償還）延期リスクを避けて高いリターンが見込まれる証券への投資を行ないました。ファンドの解約に際しては、ポートフォリオ特性をおおむね維持するよう、慎重に組入証券の売却を行ないました。また、一部銘柄の入れ替えを行ない、利回りの向上を図りました。

また、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の１万口当り分配金（税込み）は20円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目			当期 2017年12月19日 ～2018年６月18日
当期分配金（税込み）		(円)	20
	対基準価額比率	(%)	0.21
	当期の収益	(円)	20
	当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額		(円)	621

(注１) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注２) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注３) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	当期
(ａ) 経費控除後の配当等収益	133.51円
(ｂ) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(ｃ) 収益調整金	0.38
(ｄ) 分配準備積立金	507.18
(ｅ) 当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	641.09
(ｆ) 分配金	20.00
(ｇ) 翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	621.09

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

主として、ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンドへの投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

■ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド

引き続き、ユーロ圏での金融緩和縮小に向けた政策動向および米国の今後の利上げペースに注目が集まります。南欧の政治リスクへの警戒感に加えて米国による通商政策の不透明感などは、今後も市場の重しとなることが予想されますが、投資対象企業のクレジットファンダメンタルズは総じて良好です。

今後の運用については、個別証券の諸条件や市場の動向にはより注視してまいりますが、基本的

には現状の組入銘柄を中心に、相対価値比較から一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、ファンドの信託期間における利回りの向上を図る方針です。

また、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2017.12.19～2018.6.18)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	50円	0.525%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 **期中の平均基準価額は9,566円です。**
（投信会社）	(23)	(0.242)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(26)	(0.269)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	51	0.529	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

（注3）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注4）比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2017年12月19日から2018年６月18日まで）

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	187.383	16,542	1,639.954	149,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2017年12月19日から2018年６月18日まで）

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				TII FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND（ケイマン諸島）	1,639.954	149,000	90

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島）TII FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND	9,241.853	813,246	99.1

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年６月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	813,246	97.6
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	19,712	2.4
投資信託財産総額	832,959	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年6月18日現在

項　　目	当　期　末
(A)資産	**832,959,765円**
コール・ローン等	19,712,585
投資信託受益証券（評価額）	813,246,181
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	999
(B)負債	**12,023,715**
未払収益分配金	1,746,277
未払解約金	5,473,761
未払信託報酬	4,766,319
その他未払費用	37,358
(C)純資産総額（A－B）	**820,936,050**
元本	873,138,967
次期繰越損益金	△ 52,202,917
(D)受益権総口数	**873,138,967口**
1万口当り基準価額（C／D）	**9,402円**

＊期首における元本額は1,024,700,146円、当期中における追加設定元本額は128,919円、同解約元本額は151,690,098円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は9,402円です。
＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は52,202,917円です。

■損益の状況

当期　自2017年12月19日　至2018年6月18日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	**16,462,652円**
受取配当金	16,464,745
受取利息	179
支払利息	△ 2,272
(B)有価証券売買損益	△ **37,866,850**
売買益	1,813,762
売買損	△ 39,680,612
(C)信託報酬等	△ **4,804,853**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△ **26,209,051**
(E)前期繰越損益金	△ **25,644,257**
(F)追加信託差損益金	**1,396,668**
(配当等相当額)	(33,666)
(売買損益相当額)	(1,363,002)
(G)合計（D＋E＋F）	△ **50,456,640**
(H)収益分配金	△ **1,746,277**
次期繰越損益金（G＋H）	△ **52,202,917**
追加信託差損益金	1,396,668
(配当等相当額)	(33,666)
(売買損益相当額)	(1,363,002)
分配準備積立金	54,196,171
繰越損益金	△ 107,795,756

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注3）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,657,799円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	33,666
(d) 分配準備積立金	44,284,649
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	55,976,114
(f) 分配金	1,746,277
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	54,229,837
(h) 受益権総口数	873,138,967口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	20円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、６月18日現在の基準価額（１万口当り9,402円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税５%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

トライアングルⅡ　ファンド－ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型））の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ　ファンド－ワールド　フィナンシャル　キャピタル　セキュリティーズ　ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。
（注）2018年６月18日で入手しうる直近の決算期分を掲載しております。

貸借対照表

2017年12月31日現在

（日本円）

資産	
現金及び現金同等物	171, 376, 371
未収利息	63, 188, 246
金融資産（損益通算後の評価額）	3, 288, 196, 794
資産合計	**3, 522, 761, 411**
負債	
金融負債（損益通算後の評価額）	60, 557, 641
未払費用	7, 462, 638
負債合計	**68, 020, 279**
資本	
資本金	3, 889, 303, 208
繰越損失	(434, 562, 076)
資本合計	**3, 454, 741, 132**
負債及び資本合計	**3, 522, 761, 411**

損益計算書

2017年12月31日に終了した年度

（日本円）

収益	
受取利息	208, 349, 902
金融資産及び負債（損益通算後の評価額）の純実現損	(574, 584, 139)
金融資産及び負債（損益通算後の評価額）の未実現損益の純変動額	524, 360, 101
為替差益	3, 819, 374
収益合計	**161, 945, 238**
費用	
運用報酬	16, 523, 986
保管費用	1, 803, 361
管理費用	8, 926, 298
書換代理人費用	1, 891, 516
監査費用	2, 504, 991
弁護士費用	83, 961
その他専門家費用	236, 550
サービスフィー	139, 123
費用合計	**32, 109, 786**
当期利益	**129, 835, 452**

組入明細

通貨	銘柄名	利率（%）	次回コール日	評価額（現地通貨）
EUR	DEMETER (SWISS LIFE)	4.3750	2025/6/16	352,017.04
GBP	AVIVA PLC	6.1250	2022/9/29	232,639.11
GBP	BARCLAYS BANK PLC	14.0000	2019/6/15	1,247,569.64
GBP	DANSKE BANK A/S	5.3750	2018/9/29	1,985,022.51
GBP	HBOS CAPITAL FUNDING LP	6.4610	2018/11/30	1,044,988.40
GBP	RABOBANK CAP FD TR IV	5.5560	2019/12/31	899,043.65
GBP	STANDARD CHARTERED BANK	7.7500	2018/4/3	537,202.88
USD	ABN AMRO BANK NV	6.2500	2022/4/27	225,557.19
USD	ALLIANZ SE	5.5000	2018/9/26	2,680,448.60
USD	AUST & NZ BANKING GROUP	4.5000	2024/3/19	212,080.40
USD	AXA SA	4.5000	2022/3/15	691,195.18
USD	BANK OF AMERICA CORP	4.2000	2024/8/26	1,066,556.39
USD	BNP PARIBAS	4.3750	2025/9/28	316,363.17
USD	BPCE SA	5.7000	2023/10/22	335,233.01
USD	CITIGROUP INC	4.0500	2022/7/30	1,162,558.93
USD	CLOVERIE PLC ZURICH INS	4.7500	2022/1/20	1,005,913.36
USD	CREDIT AGRICOLE SA	8.3750	2019/10/13	1,163,132.21
USD	CREDIT SUISSE NEW YORK	6.0000	2018/2/15	2,669,714.58
USD	GOLDMAN SACHS GROUP INC	4.2500	2025/10/21	210,336.17
USD	HBOS PLC	6.7500	2018/5/21	512,075.80
USD	HSBC HOLDINGS PLC	4.2500	2024/3/14	1,266,954.18
USD	ING BANK NV	4.1250	2018/11/21	1,118,099.58
USD	JPMORGAN CHASE & CO	3.3750	2023/5/1	765,827.97
USD	LLOYDS BANK PLC	12.0000	2024/12/16	807,560.60
USD	MIZUHO FINANCIAL GROUP	4.3530	2025/10/20	473,087.77
USD	MORGAN STANLEY	4.8750	2022/11/1	216,789.09
USD	NORDEA BANK AB	4.8750	2021/5/13	532,917.14
USD	SMFG PREF CAP USD 3	9.5000	2018/7/25	2,912,262.90
USD	SOCIETE GENERALE	5.0000	2024/1/17	326,636.18
USD	WELLS FARGO & COMPANY	4.1250	2023/8/15	641,404.51

通貨の略称：

USD － 米ドル
EUR － ユーロ
GDP － 英ポンド

外国為替先渡契約

売却通貨	売却通貨金額	購入通貨	購入通貨金額	決済日	評価額（日本円）
日本円	19,555,240	ユーロ	146,000	2018年1月30日	199,851
日本円	13,733,917	ユーロ	103,000	2018年1月30日	202,894
日本円	3,076,549	ユーロ	23,000	2018年1月30日	35,554
日本円	63,848,305	ユーロ	479,000	2018年1月30日	964,631
米ドル	21,020,000	日本円	2,333,009,800	2018年1月30日	(32,021,668)
ユーロ	1,115,000	日本円	147,523,420	2018年1月30日	(3,345,939)
英ポンド	6,078,000	日本円	901,434,258	2018年1月30日	(24,454,995)
米ドル	404,000	日本円	44,783,804	2018年1月30日	(671,606)
日本円	13,565,040	米ドル	120,000	2018年1月30日	(63,433)
合計					**(59,154,711)**

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

＜補足情報＞

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014－04（為替ヘッジあり／限定追加型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年６月18日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2017年12月19日から2018年６月18日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	90,000		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年６月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書　第６期（決算日　2017年12月11日）

（計算期間　2016年12月10日～2017年12月11日）

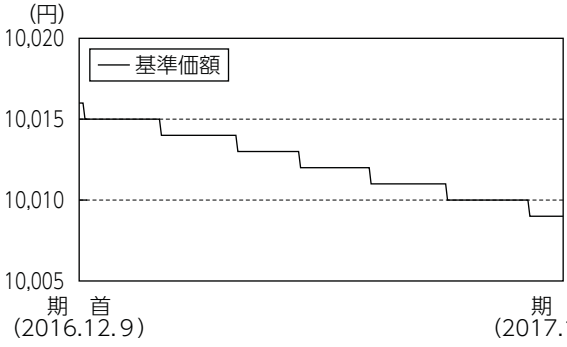
ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第６期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2016年12月9日	10,016	−	28.2
12月末	10,015	△0.0	−
2017年1月末	10,015	△0.0	31.1
2月末	10,014	△0.0	25.3
3月末	10,014	△0.0	−
4月末	10,013	△0.0	35.3
5月末	10,012	△0.0	5.1
6月末	10,012	△0.0	0.6
7月末	10,011	△0.0	0.1
8月末	10,011	△0.0	−
9月末	10,010	△0.1	−
10月末	10,010	△0.1	−
11月末	10,009	△0.1	−
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円　期末：10,009円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	33,310,870	− (36,270,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100		
669 国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099		
657 国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055		
659 国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077		
652 国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020		
642 国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036		
644 国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088		
651 国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049		
660 国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027		
638 国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項目	当期末
(A) 資産	**17,415,714,754円**
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**17,415,714,754**
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	**17,399,953,390口**
1万口当り基準価額(C／D)	**10,009円**

＊期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年２回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年２回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワＤＢモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）6,592,748円、ダイワＤＢモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）10,288,683円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（年１回決算型）4,995円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（年１回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015－01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－　α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver３－858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver６－3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver７－828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver４－3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト12　Ver２－549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver５－2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト　マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター（年２回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年２回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（毎月分配型）1,235円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（毎月分配型）1,598円、通貨選択型　ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　日本円コース（毎月分配型）1,544円、通貨選択型　ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　通貨セレクトコース（毎月分配型）1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト12－679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト13－1,287,713,056円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

■損益の状況

当期　自2016年12月10日　至2017年12月11日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△ 8,299,426円**
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	**△ 2,491**
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	**△ 174,287**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 8,476,204**
(E) 前期繰越損益金	**16,325,703**
(F) 解約差損益金	**△ 3,147,995**
(G) 追加信託差損益金	**11,059,860**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**15,761,364**
次期繰越損益金(H)	**15,761,364**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。